

障がい等地域支援ブロック会議報告(令和元年7月～令和元年12月)

資料1-1

月	参加機関数	参加者数	担当機関名	事例タイトル	検討項目	意見	課題
7	30	35	セルフジョブアシスト	精神障害の方の就労支援について	統合失調症で常に幻聴がある。就労移行支援を経て一般就労をし、現在、就労定着支援を利用中。本人はフルタイム勤務を目指し焦っているが、午前中起床できていないことから、午後からの勤務になっている。本人のモチベーションを保ちつつ、ステップアップさせるにはどうしたらよいか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムを整え、モチベーションを保ちながらステップアップする時期を見極めるには、主治医との連携が欠かせない。</li> <li>本人を通して主治医と相談するのではなく、直接支援員が主治医に相談すること。</li> </ul>	事業所では、本人や家族を通して主治医からの意見を得ることが多い。直接支援員や計画相談員が主治医と連携を取りやすくしていくためには、どのようにすれば良いか。
8	117	245	神原苑	【合同ブロック会議】高齢者支援者と障害者支援者の意見交換会	障害者総合支援制度から介護保険制度への移行にあたっての連携について。	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害から介護のサービス調整に苦慮、本人が混乱。</li> <li>制度の違いに苦慮。</li> <li>お互いのサービス、制度の理解不足。</li> <li>障害や疾病の理解不足。</li> </ul>	基本的な制度の違いやサービス内容の違いにより、障害から介護への移行が難しい。また、本人も馴染めず理解が得にくい状況があるが、スムーズに移行できるよう準備していくためには、どのようにすれば良いか。
9	26	29	県立こころの医療センター	短期間に入退院を繰り返している統合失調症の方の地域支援について	退院するたびに40歳以上年の離れた男性宅や知人宅で同居するなど、生活拠点が定まらず、安定した生活ができていない。入院中から切れ目なく支援ができるよう地域と連携したいが、本人の居住地は他市になるため、どのようにすれば良いか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の希望は尊重するが、尊重しすぎて体調不良になるのなら、退院後も病状・生活の安定が図れるよう、入院中から主治医等病院スタッフが主体となって、居住地域と連携をはかること。</li> </ul>	地域の支援者を整理し、退院前に連携会議を開催するには、他市にある病院からでは情報が不十分のため、どことまず連携を図れば良いか。

月	参加機関数	参加者数	担当機関名	事例タイトル	検討項目	意見	課題
10	22	31	宇部医療センター	医療的ケア児の支援について	支援学校の長期休みの時のみ事業所を利用するため、状態変化していることがあるが、保護者からの情報だけでは不十分。学校や他機関とも連携をはかるためにはどのようにすれば良いか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画相談員と連携できていない。</li> <li>・長期休暇のみの利用でも、サービス利用計画や個別支援計画があるはず。担当者会議の開催を。</li> </ul>	短期間しか利用しないサービス事業所は、通常利用の事業所と比べて、計画相談員との連携が薄い。児童の場合は特に、保護者が主体となつて利用前に調整することも多く、より連携しづらさがあるが、漏れなく確実に連携をはかり情報共有するためにはどのようにすれば良いか。
11	24	30	おひさまっこ	児童発達支援、放課後等デイサービス、園・学校との連携について	普通級に在籍しているADHDの小学1年生。母の精神状態により影響を受け、問題行動を起こしやすい状況にある。就学前は、定期的に幼稚園と情報共有があり、家庭の様子もよくわかったが、就学後、普通級に在籍していることもあり、先生も忙しそうなので、学校と連携ができていない。送迎がないため、送迎時に面談することもできない。どのように情報共有すれば良いか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画相談員を利用し学校と連携をはかる。</li> <li>・学校の窓口は校内コーディネーターなので、遠慮せず活用を。</li> <li>・母の支援として、地域の保健師とも連携を。</li> </ul>	計画相談員に、事業所と家族だけでなく、学校等他機関とも連携をはかり、モニタリングや担当者会議の場を活用してもらうためには、どのようにすれば良いか。
12	24	26	そらいろ	発達障害の方の就労支援について	自分から困り感を伝えることができない、アスペルガーの女性。一般就労しているが、職場も家族も本人の気持ちのくみとりが難しい。問題がこじれる前に関係機関で情報共有し、支援するためにはどうすれば良いか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が得意なパソコンを活用し、メールで相談できるようにする。</li> <li>・就労定着支援の事業所が本人の相談窓口となり、企業側と連携してこまめに情報共有する。</li> </ul>	就労定着支援は3年間しか利用できないが、終了後のサポート体制をどのようにすれば良いか。